



わすれないで！ 手あらい(タオル)・マスク・けんこうかんさつ！

11月に入り、急に寒くなりましたね。寒さと乾燥により、感染症が流行する季節です。手洗い・マスクを忘れずに、また、登校前はおうちの人と健康観察して、体調の悪い時は無理をして登校せず、家でしっかり休養しましょう。

感染症予防の基本 「えいよう」「うんどう」「すいみん」

感染症に負けない体づくりのために、よく食べ、運動し、夜更かしせずしっかり寝てくださいね！



マスクの着用による肌あれに注意！



マスクの素材にかぶれる

蒸れた状態でマスクをはずすと、水分が蒸発し、肌が急に乾燥してあれる

マスクで肌がこすれて炎症を起こす

内側を蒸れたままにすると、雑菌が増えて、かぶれや炎症を悪化させる

感染症予防のために着用するマスクを、長時間着け続けると、かぶれなどの肌あれの原因になることがあります。マスクはいつも清潔にし、肌のあれを感じたら、クリームなどで保護するようにしましょう。

アルコール消毒による手荒れに注意！

アルコールは、皮膚の水分をとってしまうので、手荒れの原因になります。特に、子どもの皮膚は柔らかく、弱いもの。しっかり手洗いをしていれば、アルコール消毒はしなくても大丈夫です。気軽なアルコール消毒ばかりに頼らず、まずはきちんと手洗いの習慣をつけ、手洗いが難しい場合だけ限り、アルコール消毒をしましょう。また、手荒れやケガなどで状態が悪かったり、肌の弱い人はアルコール消毒を控えてしっかり手洗いをしましょう。



保護者の皆様へ

感染症情報

新型コロナウイルス感染症が、全国的にも大阪府でも感染者数も増えていきます。コロナ禍で初の冬、新型コロナがどのように流行するのかは未知の世界ですが、徐々に気温や湿度が下がり誰もが感染する可能性が高くなってきていることは間違いありません。今一度、薄れつつある感染症予防の意識を高め、一人ひとりの予防行動（手洗いの励行、家庭での健康観察、必要な栄養と十分な休養等）へのご協力をよろしくお願いします。

しかしながら、完全な予防策はありません。どんなに予防しても感染することもあります。感染した人が療養したあと、安心して通常生活に戻れるよう、「シトラスリボンプロジェクト」の精神を大切に、忘れずにいましょう！
なお、本校では10月にヘルパンギーナ、アデノウイルス、水痘の報告がありました。

保健室内の感染症対策

保健室には様々な理由で来室しますが、体調不良児童の対応時に、室内で感染を広げない・媒介しない対策をしています。

- ・「体調不良」と「ケガ」の入り口・エリアを分けて対応します。
 - ・体調不良児童の対応ごとに、アルコール消毒をします。
 - ・ベッドは使用していません。横になりたい場合、アルコール消毒をした診察台と洗濯・消毒が可能な毛布を使用し休養します。ぐったりしていたり倦怠感が強い場合は、お迎えをお願いします。
 - ・熱のある人は、第二保健室（会議室）でお迎えを待ちます。
 - ・1時間程度様子をみても快復せず症状が続く場合は、熱がなくても、お迎えをお願いしています。自宅休養のご協力をお願いします。
- その他、基本的な対策（常時換気、三密対策、飛沫対策等）も行っています。